

教科	国語	科目	国語総合	単位数	3	学年・コース	1年 総合, 体育
教科書	『精選国語総合』 三省堂			担当者	藪田和弘・藤島淳・和崎祐美子・門倉高之・笹川貴弘		
概要・ねらい	<p>文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。</p> <p>文学作品を通し、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。</p> <p>現代において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。</p>						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	6	《現代文》 評論『水の東西』	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開や要旨を捉え、文章の内容を正しく理解できているか。 比較文化の分野に興味を持つことができたか。 			
		3	《古文》 古文を読むために 「児のそら寝」宇治拾遺物語	<ul style="list-style-type: none"> 古文を繰り返し音読し慣れ親しみ、話の展開を理解し内容を把握しているか。 <p style="text-align: right;">〈中間考査〉</p>			
		4	《現代文》 随想『「待つ」ということ』 鷲田清一	<ul style="list-style-type: none"> 作品の要旨を把握し、筆者の考え方やものの捉え方を理解しているか。 多角的な視野で主題を考察することができたか。 			
		4	《古文》 小説『清兵衛と瓢箪』 志賀直哉 「検非違使忠明」 今昔物語集	<ul style="list-style-type: none"> 古文を繰り返し音読し慣れ親しみ、話の展開を理解し内容を把握しているか。 (文語) 文法の基礎を理解しているか。 <p style="text-align: right;">〈期末考査〉</p>			
	二学期	7	《現代文》 小説『羅生門』 芥川龍之介	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の姿を人間探求の視点から考察することができたか。 			
		3	《現代文》 評論『コインは円形か』 佐藤信夫	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開や要旨を捉え、文章の内容を正しく理解できているか。 			
		5	《漢文》 漢文の構造と訓読の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を読む上での基礎的知識を身につけることができたか。 <p style="text-align: right;">〈中間考査〉</p>			
		4	《現代文》 評論『言語は色眼鏡である』 野元菊雄	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開や要旨を捉え、文章の内容を正しく理解できているか。 			
4		《現代文》 評論『「もの」の科学から「こと」の科学へ』 池田清彦	<ul style="list-style-type: none"> 哲学、思想の分野に興味を持つことができたか。 社会問題を身近に感じる事ができたか。 				
三学期	5	《漢文》 推敲・漁夫の利・借虎威・蛇足	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の訓読を学び、故事の意味を正しく理解しているか。 <p style="text-align: right;">〈期末考査〉</p>				
	4	《現代文》 評論『なぜ私たちは労働するのか』 内田樹	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開や要旨を捉え、文章の内容を正しく理解できているか。 哲学、思想の分野に興味を持つことができたか。 				
	4	《現代文》 評論『命は誰のものか』 柳澤桂子 《古典》 『伊勢物語』 「芥川」 「東下り」	<ul style="list-style-type: none"> 社会問題を身近に感じる事ができたか。 歌物語の特徴を理解し、作中の和歌を正しく理解できたか。 (動詞の) 活用を理解しているか。 <p style="text-align: right;">〈学年末考査〉</p>				
履修上の注意							
ノートは必ず準備すること(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や状況に応じ、筋道を立てて話すことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出	行動観察 発言	ノートへの書き込み 定期考査	授業に取り組む姿勢 定期考査	定期考査 課題等の提出		

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4	学年・コース	1年 文理
教科書	『高等学校 国語総合』三省堂			担当者	藤島淳		

概要・ねらい
 国語を的確に理解し、適切に表現する能力を養い、伝える力を高める。作品内容から思考力を伸ばし、自分の心情を豊かにする。国語の言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。

年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準
	一学期	5	5	《現代文》 評論『水の東西』 評論『ネットが崩す公私の境』 《古文》 5 古典を読むということ 5 宇治拾遺物語「児のそら寝」
《現代文》 5 小説『灰色の月』 5 評論『なぜ私たちは労働するのか』 《古文》 10 伊勢物語「芥川」「東下り」				<ul style="list-style-type: none"> 古典を学ぶ意義を理解できたか。 古文の現代語訳の仕方を正しく理解できたか。 (中間考査) <ul style="list-style-type: none"> 現代小説に親しみ、短編小説における心理描写を的確に読み取れているか。 作品の要旨を把握し、筆者の考え方やものの捉え方を理解しているか。 《期末考査》 <ul style="list-style-type: none"> 古語の意味、動詞の活用を理解しているか。
二学期	10	7	《現代文》 小説『羅生門』	<ul style="list-style-type: none"> 小説の面白さを味わい、その主題と構想を理解しているか。 小説を読む楽しさに気づき、読書への興味が深まったか。
			《漢文》 7 漢文の構造と訓読の仕方 7 故事「借虎威」「蛇足」 《現代文》 10 小説『富嶽百景』 5 評論『余暇について』 《漢文》 9 唐詩「春暁」「絶句」「春望」 論語	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を読む上での基礎的知識を身につけることができたか。 漢文の訓読を学び、故事の意味を正しく理解しているか。 (中間考査) <ul style="list-style-type: none"> 太宰治の作品に触れ、その独特の感性を理解したか。 作品の論旨を正しく理解できているか。 《期末考査》 <ul style="list-style-type: none"> 漢文を正確に理解し、中国の人々の生き方について考えられたか。 孔子の思想に触れ、自身の生き方を考えられているか。
三学期	7	5	《現代文》 評論『グローバリゼーションの光と影』 評論『人として共感できるもの』	<ul style="list-style-type: none"> 作品の要旨、作者の表現方法を正しく理解したか。 作品の要旨を把握し、筆者の考え方やものの捉え方を理解しているか。
			《古典》 4 平家物語「木曾の最期」 4 奥の細道「旅立ち」	<ul style="list-style-type: none"> 平家物語特有の文章のリズム、語調を感じる事ができたか。 文法的な裏づけのもと、内容を理解できたか。 (学年末考査)

履修上の注意
 ノートは必ず準備すること(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。

評価の観点の趣旨と評価方法					
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や状況に応じ、筋道を立てて話すことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出	行動観察 発言	ノートへの書き込み 定期考査	授業に取り組む姿勢 定期考査	定期考査 課題等の提出

教科	学校設定科目	科目	基礎国語	単位数	1	学年・コース	1年 総合, 体育
教科書	『進路マップ マナトレ』ベネッセ			担当者	藪田和弘・藤島淳・和崎祐美子・門倉高之・笹川貴弘		
概要・ねらい	中学校までの国語分野を再確認し、苦手意識や不安を解消し、高等学校での国語学習に活かしていく。 日本語の基礎を学び、自ら使える語彙を増やし、表現力や読解力を養っていく。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	全10	『マナトレ基礎編』 ①ひらがな・カタカナ表記 ②漢字の成り立ち ③主語と述語の把握 ④敬語 ⑤語彙 ⑥同音異義語 ⑦呼応(陳述)の副詞 ⑧接続詞 『マナトレ標準編』 ①基礎編の復習	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や表現の基本が理解できるか。 自分の気持ちを正確に表現することができるか。 小説を読むための基本語彙が身に付いているか。 自分の弱点を確認し、克服することができるか。 <ul style="list-style-type: none"> 文章読解につながる語彙が身に付いているか。 小論文・作文で使える表現が身に付いているか。 自分の弱点を確認し、克服することができるか。 			
	二学期	全12	読書感想文(夏休みの宿題) 『マナトレ標準編』 ②いろいろなことば(形容詞) ③漢字・慣用句 ④いろいろなことば(動詞) ⑤いろいろなことば(その他) 『マナトレ挑戦編』 ①標準編の復習 ②「具体」と「抽象」	<ul style="list-style-type: none"> 課題図書を読み、自分の考えや意見を述べることができるか。 文章読解につながる語彙が身に付いているか。 小論文・作文で使える表現が身に付いているか。 自分の弱点を確認し、克服することができるか。 <ul style="list-style-type: none"> 「具体」から「抽象」へのプロセスが分かり、評論読解に繋がる基本的語彙が身に付いているか。 自分の弱点を確認し、克服することができるか。 			
	三学期	全5	『マナトレ挑戦編』 ③漢字・慣用句 ③指示語の把握 ④内容(部分)の把握 ◎「天声人語」の書き写しと感想文	<ul style="list-style-type: none"> 「具体」から「抽象」へのプロセスが分かり、評論読解に繋がる基本的語彙が身に付いているか。 自分の弱点を確認し、克服することができるか。 <ul style="list-style-type: none"> 新聞の文章に慣れ親しみ、正しい言葉遣いや文章の構成を理解することができるか。 			
履修上の注意							
定期考査は行いません。よって課題等の提出物は、評価に影響するため、必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点	基礎知識を学び直し、自分に不足しているものを再確認することができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や状況に応じ、筋道を立てて話すことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	教材の内容をテーマに即して的確に読み取り、要旨を理解できる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出	行動観察 発言	プリントへの書き込み 作文等への取り組み	授業に取り組む姿勢	課題等の提出 小テスト		

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3	学年・コース	2年 総合, 体育	
教科書	「高等学校 現代文B」明治書院		担当者	庄司剛・岩崎瑠莉恵・青田竜童・遠藤明日香・笹川貴弘				
概要・目標	様々なカテゴリーの文章を読むことによりその中に展開される世界や日本の歴史に触れ、人間としてのバイタリティーを豊かにする授業を行う。また多様な表現に接して語彙を増やし、他とのコミュニケーションを円滑に行えるようにすることや、日本語の言語感覚を磨き思考力を豊かにすることに重点を置き、言語文化に対する関心を深めることを目標とする。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準				
	一学期	6 12	随想『月あかり雪あかり花あかり』 小説『山月記』	<ul style="list-style-type: none"> 随想から、その表現を読み味わい、言葉に対する感性を磨く。 月あかり、雪あかり、花あかりの共通点が何を意味するかをつかむ。 短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむ。 登場人物の人物像や心情の推移を的確に読み取る。 小説を自己問題に引きつけて味わう姿勢を養い、自己について考えを深める。 (中間考査)				
		10 10 6	評論『心の鉱脈』 評論『幸福について』 詩『旅上』『永訣の朝』 『弟に速達で』	<ul style="list-style-type: none"> 評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 心の鉱脈、心のエネルギーなどの言葉を理解し、生きる力について考える。 筆者の述べる幸福について理解し、考えを深める。 文体や修辞など表現上の特色をとらえ、作品を深く味わう。 韻律に注意し、描かれた情景や心情にふさわしい朗読を工夫する。 (期末考査)				
	二学期	6 12	評論『愛づる』 小説『ナイン』	<ul style="list-style-type: none"> 評論の文章において、論の展開、論拠、要旨を的確に捉える。 発想を転換して、新鮮な視点から物事をとらえることに目を向ける。 「愛づる」「時間を見つめる」の意味を、全体を通して、読み解く。 短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむ。 登場人物の人物像や心情を的確に読み取る。 地域社会の暮らしと人情について実感をもって文章を味わう。 (中間考査)				
		15 8	小説『ころ』 評論『多様性は人間だけのものか』	<ul style="list-style-type: none"> 作品を深く読んで人間のあり方についての問題意識をつかむ。 友人Kとの関わりから生じる私の心の変化を場面展開に即してまとめる。 人間のあり方について問題意識を深め、登場人物の生き方について話し合う。 筆者の言う「生物多様性」の意味を、身近なものとして読み取る。 「人類が示準化石となる」に込められた筆者のメッセージについて考える。 (期末考査)				
	三学期	6 8	評論『コンコルドの誤り』 評論『「間」の感覚』	<ul style="list-style-type: none"> 具体例や対比の表現などから筆者の主張をとらえる。 人間の思考の「誤り」について考えを深める。 既成のものの方見方にとらわれない視点を探る。 文化の独自性と相互の差異について比較文化論の観点から認識を深める。 日欧の自然感情や建築様式の相違による「空間」意識の相違をつかむ。 日本人の行動様式を「間」の感覚の特性からとらえる。 (学年末考査)				
	履修上の心得と注意							
	学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。							
	評価観点の趣旨と評価方法							
	各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ワークシート ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート			

教科	国語	科目	現代文A	単位数	5	学年・コース	2年 文系
教科書	『精選現代文B』明治書院		担当者	岩崎 瑠莉恵			
概要・ねらい	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。						
年間授業計画	一学期	配当時間	学習内容	評価規準			
		10	《評論1》『この瞬間を歴史に刻む』	<ul style="list-style-type: none"> 作品における、論理の展開や要旨を捉え、文章の内容を正しく理解できている。 論理的に考えることの面白さ、意義を捉えられている。 <p style="text-align: right;">(中間考査)</p>			
		13	《評論1》『脳のなかの古い水路』				
		15	《小説1》『山月記』				
	12	《評論2》『芸術を楽しむ』	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の性格、行動についての的確に読み取り、人間について考えを深めている。 小説における「変身」の意味・位置づけについて理解している。 筆者の考える、芸術のあり方を読み取っている。 本文の着眼の仕方や発想について、自分の考えを文章にまとめている。 <p style="text-align: right;">(期末考査)</p>				
	二学期	13	《評論3》『科学と世界観』	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える、「科学技術」と「進歩」について読み取っている。 筆者の考えをふまえ、自分の考えを文章にまとめている。 <p style="text-align: right;">(中間考査)</p>			
		17	《小説2》『バブーシュカ』				
		17	《小説3》『ころも』				
		13	《評論4》『モードの視線』		<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の性格、行動についての的確に読み取り、人間について考えを深めている。 文学的文章から読み取ったことを、観点を明らかにしたり、根拠を示したりしながら述べるとともに、相手の話を的確に聞き取っている。また、話し合いをとおして作品をより深く理解している。 筆者の考える、「可視性」について読み取っている。 筆者の考えをふまえ、自分の考えを文章にまとめている。 <p style="text-align: right;">(期末考査)</p>		
	三学期	12	《評論3》『いのちのかたち』	<ul style="list-style-type: none"> 英語語の「ライフ」と日本語の「いのち」の持つニュアンスの違いについて理解している。 「いのち」という言葉に表れている日本人の生命観について理解している。 「いのち」と「生命」の違いについて考え、意見を述べようとしている。 <p style="text-align: right;">(学年末考査)</p>			
		13	《評論4》『身体という受動性』				
	履修上の注意	ノートは必ず準備すること(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。					
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) 記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) 記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> 記述の確認(ノート、プリント、ワークシート、レポート) 感想文などの作成した文章 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察(学習活動における発言内容や態度) 記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察(学習活動における発言内容や態度) 記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) 定期考査 		

教科	国語		科目	現代文B		単位数	4		学年・コース	2年 理系	
教科書	明治書院「精選 現代文B」			担当者	宮武桃子						
概要・目標	近代以降の様々な文書を読むことを通して、読解力と思考力を養い、生徒の世界観を広げる授業を行う。また、自らの考えを論理的な文章で表現したり、他者に伝える力を身に付けるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する興味を深め、国語を尊重してその向上を図ることを目標とする。										
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価							
	一学期	5	随想『桜との出会い』	<ul style="list-style-type: none"> ・随想から、その表現を読み味わい、言葉に対する感性を磨く。 ・筆者が出会った様々な桜に対しての想いを読み取る。 ・短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむ。 ・登場人物の人物像や心情の推移を的確に読み取る。 ・小説を自己問題に引きつけて味わう姿勢を養い、自己について考えを深める。 ・場所を表す言葉に注意し、その関係性について考える。 ・韻律に注意し、描かれた情景や心情にふさわしい朗読を工夫する。 	(中間考査)						
		8	小説『山月記』								
		2	詩『小景異情』								
	一学期	5	評論『この瞬間を歴史に刻む』	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・歴史を学ぶ意味や歴史に興味を抱くことの楽しさから導かれるものを読み取る。 ・空目について身近なところから考察し、脳の中にある認識システムについて理解する。 ・「世界は分けられないことにはわからない。しかし分けても本当に分かったことにはならない」という筆者の言葉を考察し、意味をとらえる。 ・日本と西洋の都市の相違点についてまとめ、都市と自然の関係性について考察する。 	(期末考査)						
		5	評論『脳のなかの古い水路』								
		5	評論『近代都市のレトリック』 —スカイラインと塔状建築								
	二学期	10	小説『パプーシユカ』	<ul style="list-style-type: none"> ・作者のよしもとばななについて理解する。 ・「彼」と「お母さん」の結びつきはどのようなものだったか読み取る。 ・作品の表現に沿って、「私」が気づいたことや心情を読み取る。 ・芸術に対する作者の考えや感覚を読み取る。 ・芸術作品における理想について作者の考えをふまえ、自身の考えを深めていく。 	(中間考査)						
		5	評論『芸術を楽しむ』								
		5	評論『科学と世界観』								
	二学期	5	評論『いのちのかたち』	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の進歩にはどのような意味があるかまとめ、科学が人間にとって必要不可欠な存在であることを理解する。 ・「いのち」と「生命」の違いについて考察し、「いのち」についての筆者の考察を読み解く。 ・「私」の意味について考察し、「モードの視線」とは何か考えを深めていく。 ・筆者の考えや行動を個々の体験に結びつけてイメージし、理解する。 	(期末考査)						
		5	評論『モードの視線』								
5		評論『モードの視線』									
三学期	12	小説『こころ』	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を深く読んで人間の精神のあり方、自己の生き方について考える。 ・友人Kとの関わりから生じる私の心の変化を場面展開に即してまとめる。 ・言葉の意味や表現に留意して文章を読み取り、表現効果や表現意図について考察する。 ・短歌に詠まれた情景や心情など読み味わい、短歌の表現形式や表現技法を理解する。 ・短歌を声に出して読み、韻律を味わう。 	(学年末考査)							
	3	短歌『昼ながら幽かに光る』									
履修上の心得と注意											
学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい。(各学期ごとに検査を行う)また、課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。											
評価観点の趣旨と評価方法											
各観点	関心・意欲・態度		読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解					
評価観点趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。		文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じて筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることができる。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。					
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出		・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ワークシート ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート ・発言	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート					

教科	国語		科目	古典A	単位数	2	学年・コース	2年 総合/選択者
教科書	『新編 古典B』 東京書籍			担当者	岩崎瑠莉恵・遠藤明日香			
概要・目標	それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、歴史感覚、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度と思考を育てる。また、1年次までの学習をふまえ、文法力、語彙力、読解力等を深めつつ、作品に主体的な取り組みができる力を養う。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準				
	一学期	6	■古文 説話『古今著聞集』 安養の尼の小袖	・登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歴史的仮名遣いや古語に対して理解を深める。	(中間考査)			
		6	随筆『徒然草』 これも仁和寺の法師	・文学史的 position について確認する。 ・動詞、助動詞の用法、係り結びなど文法範囲を理解する。				
		6	歌物語『伊勢物語』 梓弓	・文学史的 position について確認する。 ・歌物語の特徴を味わう。 ・動詞、形容詞、助動詞の用法、係り結びなど文法範囲を理解する。				
		6	日記『更級日記』 門出	・文学史的 position について確認する。 ・作者の思想、ものの考え方を正しく捉える。 ・動詞、助動詞の用法、係り結びなど文法範囲を理解する。				
	二学期	6	■漢文 故事と小話 『蒙求』 蛭雪之功	・本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。 ・故事成語の由来と意味を知り、言語感覚を豊かにする。 ・『十八史略』の概要とその特徴を理解する。	(中間考査)			
		6	『十八史略』太公望					
5		『孟子』五十歩百歩	・本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。 ・頻度の高い語彙の読みと意味や句法を確認する。 ・本文を正しく読み取り、孟子の主張を理解する。					
三学期	7	『五柳先生伝』	・本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。 ・頻度の高い語彙の読みと意味や句法を確認する。 ・本文を正しく読み取り、作者の理想とする生き方について理解する。	(期末考査)				
	12	■古文 軍記物語『平家物語』 先帝身投げ	・平家物語特有の硬質な文章を理解する。 ・平家物語の描く時代背景、登場人物を理解する。	(学年末考査)				
履修上の注意								
ノートは必ず準備すること。(各学期ごとに検査を行う)また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価の観点	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ノート	・定期考査 ・課題等の提出 ・ノート			

教科	国語		科目	古典	単位数	3	学年・コース	2年 文系
教科書	『精選古典B』 明治書院		担当者	藪田 和弘				
概要・ねらい	それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 また、1年次までの学習をふまえ、文法力、語彙力、読解力等を深めつつ、作品に主体的な取り組みができる力を養う。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容			評価基準		
	一学期	12	《説話》 『十訓抄』 「博雅の三位と鬼の笛」 「大江山」 『宇治拾遺物語』 「袴垂、保昌に会ふこと」			<ul style="list-style-type: none"> ・説話の内容を正しく理解できたか。 ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 →用言、助動詞の用法、係り結びなどの文法事項 (中間考査)		
		12	《歴史物語》 『大鏡』 「雲林院の菩提講」 「花山天皇の退位」			<ul style="list-style-type: none"> ・物語の展開（主語の把握を含む）を的確に捉えているか。 ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 →用言、助動詞の用法、係り結びなどの文法事項 ・敬語の用法、敬意の方向など文法範囲を理解できたか。 (期末考査)		
	二学期	10	《物語》 『源氏物語』 「光源氏誕生」			<ul style="list-style-type: none"> ・物語の内容（人物関係の背景）を的確に捉えているか。 ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 →用言、助動詞の用法、係り結びなどの文法事項 ・敬語の用法、敬意の方向など文法範囲を理解できたか。 		
		5	【漢文】 《故事・逸話》 「推敵」・「塞翁が馬」・「杞憂」			<ul style="list-style-type: none"> ・正しく訓読した上で、内容を理解できたか。 (中間考査)		
10		《物語》 『源氏物語』 「小柴垣のもと」			<ul style="list-style-type: none"> ・物語の内容（人物関係の背景）を的確に捉えているか。 ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 →用言、助動詞の用法、係り結びなどの文法事項 ・敬語の用法、敬意の方向など文法範囲を理解できたか。 			
5	【漢文】 《史話・史伝》『十八史略』 「背水の陣」			<ul style="list-style-type: none"> ・正しく訓読した上で、内容を理解できたか。 (期末考査)				
三学期	12	《日記》『更級日記』 「門出」 「源氏物語を読む」 『建礼門院右京太夫集』 「今や夢昔や夢」			<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の心情を的確に捉えているか。 ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 →用言、助動詞の用法、係り結びなどの文法事項 ・敬語の用法、敬意の方向など文法範囲を理解できたか。 (学年末考査)			
履修上の注意								
ノートは必ず準備すること。（各学期ごとに検査を行う） また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。								
評価の観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度			読む能力		知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。			文章の内容を文法的な力を身につけることを中心に的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。		語彙・文語文法・漢文訓読・文学史等について正しい知識と力をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢			授業に取り組む姿勢 課題等の提出		定期考査 課題等の提出		

教科	学校設定科目	科目	国語演習	単位数	2	学年・コース	2年体育進学・アスリート
教科書	新国語問題総演習 改訂版 桐原書店		担当者	藪田 和弘・青田 竜童			
概要・ねらい	頻度の高い大学入試問題に取り組むことで、身につけていなければならない様々な知識を確認していく						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	20	第1章 漢字問題 第2章 慣用表現・常識語問題 第3章 重要語彙問題 第4章 口語文法問題 第5章 古文単語問題	第1章 漢字問題 読み① 書き取り① 第2章 慣用表現・常識語問題 三字熟語 第3章 重要語彙問題 熟語① 第4章 口語文法問題 品詞 識別 第5章 古文単語問題 古文単語①	(中間考査)		
				第1章 漢字問題 読み② 書き取り① 第2章 慣用表現・常識語問題 四字熟語 第3章 重要語彙問題 熟語② 第4章 口語文法問題 品詞 識別 第5章 古文単語問題 古文単語①	(期末考査)		
	二学期	22	第1章 漢字問題 第2章 慣用表現・常識語問題 第3章 重要語彙問題 第4章 口語文法問題 第5章 古文単語問題	第1章 漢字問題 書き取り① 第2章 慣用表現・常識語問題 三字熟語 第3章 重要語彙問題 熟語① 第4章 口語文法問題 接続詞・副詞の空欄補充 第5章 古文単語問題 古文単語①	(中間考査)		
				第1章 漢字問題 書き取り② 第2章 慣用表現・常識語問題 四字熟語 第3章 重要語彙問題 熟語②・③ 第4章 口語文法問題 接続詞・副詞の空欄補充 第5章 古文単語問題 古文単語①	(期末考査)		
三学期	10	第1章 漢字問題 第2章 慣用表現・常識語問題 第3章 重要語彙問題 第4章 口語文法問題	第1章 漢字問題 書き取り① 第2章 慣用表現・常識語問題 慣用表現① 第3章 重要語彙問題 熟語③・外来語 第4章 口語文法問題 表現	(学年末考査)			
履修上の注意							
課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		技術			知識・理解	
評価の観点の趣旨	さまざまな分野の設問に興味を持って取り組むことができる。		正解を導くための知識を身につけている。			それぞれの分野について正しい知識をもっている。	
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出		定期考査			課題等の提出 定期考査	

教科	国語		科目	現代文B	単位数	総合4/体育3	学年・コース	3年 総合, 体育	
教科書	筑摩書房「現代文B」			担当者	岩崎真吾・岩崎瑠莉恵・庄司剛 門倉高之・和崎祐美子・宮武桃子				
概要・目標	近代以降の様々な文書を読むことを通して、読解力と思考力を養い、生徒の世界観を広げる授業を行う。また、自らの考えを論理的な文章で表現したり、他者に伝える力を身に付けるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する興味を深め、国語を尊重してその向上を図ることを目標とする。								
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準					
	一学期	5	評論『考える言葉』	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい言葉」と「古い言葉」についての筆者の考えを理解する。 ・語句にこめられた独特の意味合いを整理する。 ・「芸の継承」についての論理展開を理解する。 ・自己と他者との関係における「身体」について「模倣」の観点から考える。 ・比喩や独特の表現描写から「わたし」の考えを読み取る。 ・この小説において「ゴミ」とはどのような存在か考える。 	(中間考査)				
		5	評論『模倣と「なぞり」』						
		5	小説『捨てない女』						
	一学期	5	随想『鈴虫の間、ぼくの六畳間』	<ul style="list-style-type: none"> ・表現描写や筆者の感受性を味わう。 ・日本やそれ以外の文化を見渡し、「間」という概念について考える。 ・近代芸術の価値について考える。 ・紙幣の存在が、現代社会の中でどのような働きをしているか理解する。 ・「写真」と「テレビ」に現れる構造的違いを読み取る。 ・身の回りにあるメディアに対して能動的・批判的に関わろうとするメディアリテラシーを養う。 	(期末考査)				
		5	評論『絵画は紙幣に憧れる』						
		5	評論『メディアと倫理』						
	二学期	2	詩『祝婚歌』『旅情』	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を効果的に朗読したり、それを聞きながら情景を的確にとらえる。 ・詩の中のことばを手掛かりにして、それぞれの詩にこめられた作者の思いを理解する。 ・メキシコと日本の文化の違いについて考える。 ・異文化社会や共同体の意義、人間が共生していくためのつながりについて考える。 ・真の「自由」や「幸福」とは何を意味するのか主体的に考える。 ・自分自身の行動や生き方と社会との関わりについて考える。 	(中間考査)				
		5	評論『骨とまぼろし』						
		5	評論『何のための「自由」か』						
	二学期	5	小説『藤野先生』	<ul style="list-style-type: none"> ・学生時代の「私」と「藤野先生」の具体的な関わりについて性格に読み取る。 ・人物の心情や情景を把握する。 ・「エクリチュール」の特性について考える。 ・「贈り物」をする際の行動や気持ちを思い浮かべ、その目的や意義を考える。 ・「平和」という状態について、「戦争」との対比によって展開される筆者の考えを読み取り、自己の考えを深める。 ・「戦争」が起こるプロセスを主体的に考える。 	(期末考査)				
		5	評論『わたしのいない場所』						
5		評論『戦争と平和についての観察』							
三学期			3学期は授業を行いません。						
履修上の心得と注意									
学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい。(各学期ごとに検査を行う)また、課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。									
評価観点の趣旨と評価方法									
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解				
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。				
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ワークシート ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート ・発言	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート				

教科	国語	科目	現代文B	単位数	4	学年・コース	3年 文系
教科書	『精選現代文B』筑摩書房		担当者	岩崎真吾			
概要・ねらい	1. 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。 2. 近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 3. 進んで表現し読書することによって国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	全40	『「自然を守る」ということ』 森岡 正博 『虚ろなまなざし』岡 真理 『藤野先生』鲁迅 『道について』小池 昌代	・教材の内容に関心を持っているか。・範読・音読・指名読みの態度は積極的か。 ・自然保護が必要とされる例を調べて、発表することができるか。 ・自然と人眼の関係について、自分の考えをまとめることができるか。 ・「人間と自然の二項対立」とはどのようなことか理解しているか。 ・「内なる自然」「外なる自然」について理解しているか。 ・全文を正しく音読できるか。・語句の意味や用法を理解しているか。 ・朗読を通して、文章の展開や要旨を的確にとらえているか。 ・一つの問題をとりあげた複数のメディアによる報道を比較し、メディアを単に批判するのではなく、それを通して自らを批判的にとらえ直したりメディアを賢く利用したりする方法について報告をまとめることができるか。 ・メディア・リテラシーと主体性幻想との関わりについて、既習の教材と関連させて考察することができるか。 ・「二項対立」について理解しているか。 (中間考査) ・鲁迅や、教材の内容に関心を持っているか。・範読・音読・指名読みの態度は積極的か。 ・人物の心情や情景を把握して朗読することができるか。 ・朗読を聞きながら情景を的確にとらえ、表現を味わうことができるか。 ・「私」と「藤野先生」の具体的な関わりについて正確に読み取ることができるか。 ・「私」が在学中に感じた日本人の中国人に対する差別意識と「私」の屈辱感を読み取ることができるか。 ・「私」にとって「藤野先生」が大切な師として記憶されている理由を読み取ることができるか。 ・全文を正しく音読できるか。・語句の意味や用法を理解しているか。 ・鲁迅について、その文学史的な意味を理解しているか。 ・朗読を通して、文章の展開や要旨を的確にとらえているか。(発問・授業時の反応) ・論旨を逐い、筆者のあげた具体例がどのように主張を補強し、論証する役に立っているかを理解し、読みを深めることができるか。 (期末考査)			
	二学期	全46	『つながりと秩序』北田 暁大 『ポスト・プライバシー』阪本 俊生 『沈黙』村上 春樹	・教材の内容に関心を持っているか。・範読・音読・指名読みの態度は積極的か。 ・「ケータイ」によって社会が変容したという筆者の主張について具体例を交えて話し合うことができるか。 ・本文の三段落にそれぞれ小見出しをつけることができるか。・本文の要旨を二百字程度でまとめることができるか。 ・「つながりの社会」「秩序の社会」とはどのようなことか理解しているか。・「ケータイ」によって「第三の領域」はどのように変化したか理解しているか。 ・全文を正しく音読できるか。・語句の意味や用法を理解しているか。 ・日常生活から「個人情報」「データベース」について具体例を発表することができるか。 ・本文を三段落に分け、それぞれに小見出しをつけ、要約することができるか。・「古いプライバシー意識」「新しいプライバシー意識」について、理解しているか。 ・語句の意味・用法を理解しているか。・「ネットワーク」「データベース」「国勢調査」「通信傍受法」「住基ネット」などについて理解しているか。 (中間考査) ・村上春樹や、教材の内容に関心を持っているか。・範読・音読・指名読みの態度は積極的か。・作者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。 ・人物の心情や情景を把握して朗読することができるか。・朗読を聞きながら情景を的確にとらえ、表現を味わうことができるか。 ・「沈黙」という題名の意味について話し合うことができるか。 ・この作品の時間と空間はどのような構成になっているか理解しているか。大沢さんと青木の間で起こったことを時間軸に沿って整理できるか。・この作品における「僕」の役割について理解しているか。 ・語句の意味・用法を理解しているか。・村上春樹とその作品に関して理解しているか。 (期末考査)			
	三学期		3学期は授業を行いません				
履修上の注意							
ノートは必ず準備すること(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。		
評価方法	・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)	・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)	・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) ・感想文などの作成した文章)・定期考査	・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) ・定期考査	・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート、プリント、ワークシート) ・定期考査		

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3	学年・コース	3年 理系
教科書	「精選 現代文B」 筑摩書房			担当者	庄司 剛		
概要・目標	様々なカテゴリーの文章を読むことによりその中に展開される世界や日本の歴史に触れ、人間としてのバイタリティーを豊かにする授業を行う。また多様な表現に接して語彙を増やし、他とのコミュニケーションを円滑に行えるようにすることや、日本語の言語感覚を磨き思考力を豊かにすることに重点を置き、言語文化に対する関心を深めることを目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	4	評論『『自然を守る』ということ』	①「自然保護」はどのような背景に基づいた思想であるか理解する。 ②「人間」と「自然」の関係について考察する。			
		4	評論「つながりと秩序」	①携帯電話の性質について理解する。 ②学問的な議論の構築の仕方を学ぶ。 ③人間の生や文学のあるべき姿についての筆者の考えを理解する。			
		4	評論「Not I, not I…」	①人類学や経済学・哲学など、様々な考え方について学ぶ。 ②日常の何気ない行為の中に意味の連関を見出し、神話や伝説に潜む人間の考えの原型について考察する。 (中間考査)			
		4	随想「チャンピオンの定義」	①筆者が友人や兄をどのように捉えていたか、それがどう変わっていったかを理解する。また「不思議な懐かしさ」という筆者の感じ方を理解する。			
		4	評論「死と向き合う」	①死と向き合うことが生への理解を深めるという筆者の主張を理解する。 ②インフォームドコンセントについて、いくつかの考え方を考察する。			
		4	評論「貨幣共同体」	①自明と思われる社会の現実のなかに、法則を見出していく社会科学の方法に理解を深める。 (期末考査)			
	二学期	7	小説「舞姫」	①登場人物や内容を把握し、場面ごとの描写から人物の心情を読み取る。 ②作品全体を通して、近代という時代や、人の生き方について知識を深める。 ③森鷗外の文学・思想について学び、理解を深める。			
		4	随想「ポスト・プライバシー」	①現代社会におけるプライバシー保護の意味について、日常生活を振り返りながら理解を深めさせる。 ②議論の鍵となる概念を正確に理解し、人びとの意識や社会のあり方に関連したプライバシーの変化を、文脈に即して適切に読み取らせる。 (中間考査)			
		4	評論「リスク社会とその希望」	①議論の鍵となる概念を示す語の意味を正確に理解し、「リスク」のもたらす影響、「リスク社会」の特徴を、文脈に即して整理して読み取る。 ②「リスク社会」に生きる私たちに求められることは何か、本文を踏まえた上で考察を深めさせる。			
		4	評論「沈黙」	①強い印象を残すストーリーの巧みさを味わい、読者の感性を揺り動かす人物造型や、読み易く滑らかなながら深みを感じさせる文体について考察する。 (期末考査)			
	三学期		3学期は授業を行いません				
履修上の心得と注意							
学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。							
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞きの確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。		
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート	・定期考査 ・課題等の提出 ・ノート		

教科	国語	科目	古典A	単位数	2	学年・コース	3年 総合文系
教科書	『精選古典B』東京書籍			担当者	岩崎真吾・遠藤明日香		
概要・ねらい	1. 古典としての古文を読む能力を養う。古典としての漢文を詠む能力を養う。 2. 様々な古典を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。 3. 古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	『徒然草』兼好	<ul style="list-style-type: none"> ・『徒然草』を読むことや、教材の内容に興味・関心を持っているか。 ・範読・音読・指名読みの態度は積極的か。 ・筆者の考え方を的確に理解しているか。 ・文章の特徴を読み味わうことができるか。 ・助動詞・反語・敬語表現・重要古語などについて理解しているか。 ・随筆や『徒然草』、兼好について理解しているか。 <p style="text-align: right;">(中間考査)</p>			
		10	『源氏物語』紫式部	<ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』を読むことや、教材の内容に興味・関心を持っているか。 ・範読・音読・指名読みの態度は積極的か。 ・物語の展開と登場人物の心情を理解しているか。 ・和歌・自然表現などの表現の効果について理解しているか。 ・助動詞・呼応の副詞・敬語法・重要古語などについて理解しているか。 ・『源氏物語』や、紫式部について理解しているか。 <p style="text-align: right;">(期末考査)</p>			
	全20						
二学期	12	『信玄何在』頼山陽	<ul style="list-style-type: none"> ・日本漢文や、教材の内容に興味・関心を持っているか。 ・範読・音読・指名読みの態度は積極的か。 ・返り点に従って正しく音読できるか。 ・教材の内容を的確に理解しているか。 ・登場人物の行動と心情を理解しているか。 ・『史記』との相違について理解することができるか。 ・返り点・再読文字・助字・返読文字の種類や用法を理解しているか。 ・『日本外史』や、頼山陽について理解しているか。 <p style="text-align: right;">(中間考査)</p>				
	12	『人面桃花』孟榮	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の小説や、教材の内容に興味・関心を持っているか。 ・範読・音読・指名読みの態度は積極的か。 ・返り点に従って正しく音読できるか。 ・教材の内容を的確に理解しているか。 ・登場人物の行動と心情を理解しているか。 ・返り点・再読文字・助字・返読文字の種類や用法を理解しているか。 ・漢詩の種類・表現技巧を理解しているか。 <p style="text-align: right;">(期末考査)</p>				
全24							
三学期	3学期は授業を行いません						
履修上の注意	ノートは必ず準備すること(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力			知識・理解		
評価の観点	古典を読む力を進んで育てるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして自分の考えを深め、発展させている。			伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
評価方法	・授業の取り組み姿勢 ・予習・復習と課題の提出	・応答と発問 ・予習・復習と課題の提出			・小テスト・定期考査の成績応答と発問 ・応答と発問 ・予習・復習と課題の提出		

教科	国語	科目	古典	単位数	3	学年・コース	3年 文系
教科書	『古典B』 筑摩書房		担当者	藤島淳			
概要・ねらい	それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。また、2年次までの学習をふまえ、文法力、語彙力、読解力等を深めつつ、作品に主体的な取り組みができる力を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	4 4	《説話》 『古今著聞集』「刑部卿敦兼の北の方」 『今昔物語集』「馬盗人」	<ul style="list-style-type: none"> ・説話の内容を正しく理解できたか。 ・動詞、助動詞の用法、敬語の文法範囲を理解できたか。 			
		10	《物語》『源氏物語』「心づくしの秋」 「母子の別離」	<ul style="list-style-type: none"> ・源氏物語の文学的価値を理解できたか。 ・登場人物の人間関係を正しく理解できたか。 <p style="text-align: right;">〈中間考査〉</p>			
		6 6	《日記》『紫式部日記』「和泉式部と清少納言」 《物語》『大鏡』「道長、栄華への第一歩」	<ul style="list-style-type: none"> ・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。 ・日記、物語の内容を的確に捉えているか。 <p style="text-align: right;">〈期末考査〉</p>			
	二学期	18	《漢詩》 長恨歌	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の時代、国の状況を把握した上で、それぞれの思想を理解できたか。 ・訓読、句法を正しく理解できたか。 <p style="text-align: right;">〈中間考査〉</p>			
		18	《小説》 「人面桃花」	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく訓読した上で、内容、登場人物を理解できたか。 ・登場人物の人間関係、それぞれの特徴を正しく捉えたか。 <p style="text-align: right;">〈期末考査〉</p>			
三学期			3学期は授業を行いません				
履修上の注意	ノートは必ず準備すること。(各学期ごとに検査を行う) また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		読む能力			知識・理解	
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場면을想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。		文章の内容を文法的な力を身につけることを中心に的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。			語彙・文語文法・漢文訓読・文学史等について正しい知識と力をもっている。	
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢		授業に取り組む姿勢 課題等の提出			定期考査 課題等の提出	

教科	学校設定科目	科目	国語演習	単位数	3	学年・コース	3年 総合、体育/選択者
教科書	『改訂版 よむナビ 現代文①基礎編』いづな書店 『改訂版 よむナビ 古典①基礎編』いづな書店			担当者	岩崎真吾・遠藤明日香・門倉高之・青田竜童		
概要・ねらい	<p>・現代文読解のカギとなる読解ポイントを押さえ、書き込みをしながら丁寧に読み、読解問題を解くことで、身につけていく。</p> <p>・書き込みながら丁寧に読む演習から、読解上のポイントを踏まえて解く演習へと、古文・漢文の読み方、解き方を段階的に身につけていく。</p>						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	15	<p>・現代文 1課(評論)～7課(評論)</p> <p>・古文 1課(説話)～9課(説話)</p>	<p>(評論)・話題、問題提起をおさえることができたか。・文章の展開、構成をおさえることができたか。・筆者の主張をおさえることができたか。 (小説)・設定をおさえることができたか。登場人物の心情とその変化をおさえることができたか。・場面の展開をおさえることができたか。・筆者の表現に注目できたか。・主題をおさえることができたか。 (随想)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。・筆者の表現に注目し、筆者が伝えたいことをおさえることができたか。</p> <p>(中間考査)</p>			
		15	<p>・現代文 8課(小説)～13課(小説)</p> <p>・古文 10課(物語)～15課(物語)</p>	<p>(評論)・話題、問題提起をおさえることができたか。・文章の展開、構成をおさえることができたか。・筆者の主張をおさえることができたか。 (小説)・設定をおさえることができたか。登場人物の心情とその変化をおさえることができたか。・場面の展開をおさえることができたか。・筆者の表現に注目できたか。・主題をおさえることができたか。 (随想)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。・筆者の表現に注目し、筆者の主題をおさえることができたか。</p> <p>(期末考査)</p>			
	二学期	18	<p>・現代文 14課(評論)～19課(評論)</p> <p>・漢文 1課(入門)～7課(歴史)</p>	<p>(評論)・話題、問題提起をおさえることができたか。・文章の展開、構成をおさえることができたか。・筆者の主張をおさえることができたか。 (小説)・設定をおさえることができたか。登場人物の心情とその変化をおさえることができたか。・場面の展開をおさえることができたか。・筆者の表現に注目できたか。・主題をおさえることができたか。 (随想)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。・筆者の表現に注目し、筆者の主題をおさえることができたか。</p> <p>(中間考査)</p> <p>・句形や語句、文学史や漢詩などの知識をおさえることができたか。 ・書かれている内容の理由をおさえることができたか。 ・部分的な内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいことをおさえることができたか。</p>			
18		<p>・現代文 20課(評論)～25課(俳論)</p> <p>・漢文 8課(文章)～12課(漢詩)</p>	<p>(評論)・話題、問題提起をおさえることができたか。・文章の展開、構成をおさえることができたか。・筆者の主張をおさえることができたか。 (小説)・設定をおさえることができたか。登場人物の心情とその変化をおさえることができたか。・場面の展開をおさえることができたか。・筆者の表現に注目できたか。・主題をおさえることができたか。 (随想)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。・筆者の表現に注目し、筆者の主題をおさえることができたか。</p> <p>(期末考査)</p> <p>・句形や語句、文学史や漢詩などの知識をおさえることができたか。 ・書かれている内容の理由をおさえることができたか。 ・部分的な内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいことをおさえることができたか。</p>				
三学期		3学期は授業を行いません					
履修上の注意							
ノートは必ず準備すること(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。	自分の考えをまとめて深めたりして、目的や状況に応じ、筋道を立てて話すことができる。	自分の考えをまとめて深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出	行動観察 発言	ノートへの書き込み 定期考査	授業に取り組む姿勢 定期考査	定期考査 課題等の提出		

教科	国語	科目	国語演習	単位数	2	学年・コース	3年 文系
教科書	『読み解く古典3』『論読 現代文3』浜島書店		担当者	宮武桃子			
概要・目標	現代文・古典と共に、入試に必要な解答力を高める。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
	一学期		評論 計18題 ・鷲田清一 ・西村清和 ・隈研吾 ・山崎正和 ・遠藤周作 ・小川仁志 ・檜垣立哉 ・若林幹夫 ・野平一郎	※各学期共通 ・現代文では、評論文を中心に選択・記述の問題をバランス良く演習することで文章力を高める。 ・古典では、古文と漢文をバランスよく演習することで様々な問題に対応する力を身につける。 1. 読む力をつける ・論理的に読むための着眼点を学習する。 ・意味段落に分け、文章構成を意識して読む。 ・場面・人物・心情をつかむ。 ・構成メモを用いて百字にまとめる。			
			・安部龍太郎 ・池内了 ・高階秀爾 ・港千尋 ・浅田次郎 ・大橋良介 ・養老孟司 ・高浜虚子 ・桑子敏雄				
	二学期		古文15題 漢文12題 ・大鏡 ・花月草紙 ・讃岐典侍日記 ・更級日記 ・うたたね ・増鏡 ・玉勝間 ・住吉物語 ・平家物語 ・かざしの姫君 ・俊頼髓脳 ・春のみやまち ・落窪物語 ・源氏物語 ・大和物語	2. 解く力をつける ・設問の意図や本文のどこに着目するか理解する。 ・各設問で、正解に導くための注目点を確認する。 3. 語彙力をつける ・テキスト内の問題で用いられている語句を中心に、語彙力を確認する。			
		・貞観政要 ・史記 ・搜神後記 ・答陳商書 ・荘子 ・与微之書 ・小学 ・蒙求 ・世説新語 ・漢書 ・列女伝 ・新語 ・後漢書					
三学期			3学期は授業を行いません。				
履修上の心得と注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・現代文・古典とバランスよく問題数をこなすことで多角的に考察する力を養う。 ・予習復習を行い、意味調べなど積極的に取り組む。 ・答え合わせの際は、結果だけではなくその過程を重視し、正解率を高める。 							
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	様々な入試問題に対応するために積極的に問題に取り組む。	・論理的に読むための着眼点を学び、習得する。 ・主題をとらえる力を養う。	文章の要約を行うことで、構成がしっかりとした文章を書く力を身につける。	・解法に関する質疑応答をすることで解答力と理解力を高める。	頻度高く出てくる語句は、確認することで文章理解に役立つ知識を身につける。		
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・問題演習	・定期考査 ・問題演習	・授業に取り組む姿勢	・定期考査 ・課題等の提出 ・問題演習		